

# 科学技術政策フェローについて ～大学等との連携、現場の声を政策に反映～

内閣府に大学・研究機関の研究者等（若手～シニア）を登用

米国のAAAS※<sup>1</sup>のフェロー制度のように政策立案に直接関与し、  
科学技術政策に通じ、現場で活躍する人材を育成

総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）事務局

科学技術政策フェロー

- **大学・研究機関**（一定の要件※<sup>2</sup>）によるフェローの推薦
- **任用期間の柔軟化**（3ヶ月から2年）
- 調査及び分析に加え、**企画及び立案に従事**
- 内閣府と研究者・技術者とのコミュニケーションの促進
- 内閣府で得た経験やノウハウを大学・研究機関等へ提供

**新たな仕組みによる現場の政策分析能力と  
内閣府の政策立案機能を強化**

※1 AAAS（American Association for the Advancement of Science）：「科学技術政策フェローシップ」を1973年より実施。科学者や技術者を原則1年間、議会や上下両院委員会、議員事務所あるいは官庁等の行政機関に派遣する。

※2 人事評価システム基準等の確立、研究開発マネジメント体制の強化、大学等における研究環境改善等